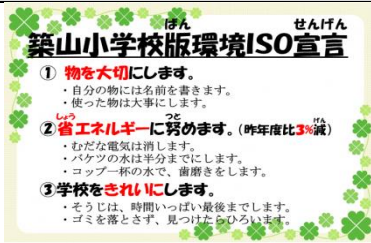






令和3年度（2021年度）学校版環境ISOへの取組

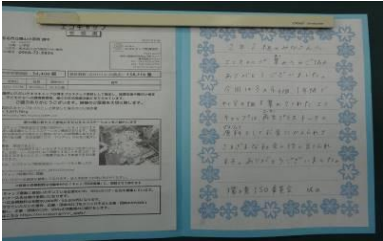
< 玉名市立築山小学校 >

1 取組の概要

項目	活動の様子（写真）	取組の実際
宣言		<ul style="list-style-type: none"> 全教室の後方に掲示している。昨年度に作ったものを継続して掲示した。
行動	<p>【児童会 委員会の取組】</p> <p>① ゴミサンタの活躍</p>  <p>② ポスター掲示</p>  <p>③ ペットボトルキャップ</p>  <p>④ 花壇の手入れ</p> 	<p>【児童会 環境ISO委員会の取組】</p> <p>① ゴミサンタの活躍</p> <ul style="list-style-type: none"> 毎週火曜日の掃除の時間に活動する。 各クラスのごみを集めて、ごみ袋に詰め込んでゴミ庫へもっていく。 <p>※ごみ袋の削減を図り、子どもたちにごみの量を確認させ、少しでもごみを減らそうという意識を持たせるために行った。</p> <p>② 年間を通しての取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ポスターを掲示して節水・節電や名前の記名の呼びかけをする。 電気使用量と水道使用量をグラフ化し掲示する。 学校内の整理整頓の確認をし、呼びかける。 <p>③ ペットボトルキャップの回収</p> <ul style="list-style-type: none"> ペットボトルのキャップは前期後期と一回ずつ全校を挙げて取り組んだ。今年もペットボトル回収業者に持参し、「NPO 法人 エコキャップ推進協会」へつなぐことができた。 <p>前期と後期の合計77,400個のペットボトルキャップを回収することができた。ペットボトルキャップは、再生プラスチック原料として換金され、医療支援や障がい者支援、子どもたちの環境教育等、様々な社会貢献活動にあてられる。</p> <p>④ 他の児童会委員会での取組</p> <ul style="list-style-type: none"> 園芸飼育委員会…花壇の手入れと水かけ 清掃美化委員会…掃除道具点検、掃除点検、無言掃除コンクールの実施。 <p>⑤ 学校全体、各学年の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> 学級園や一人一鉢の花の栽培などの緑化活動を行う。 週3回の掃除を無音掃除で行う。

	<p>【職員の取組】</p> <p>① ゴミの分別</p>  <p>② 事務室の整理整頓</p>   	<p>【職員の取組】</p> <p>①ごみの分別の徹底</p> <ul style="list-style-type: none"> ・玉名市の分別に沿って回収している。分かりやすいようにイラストや写真を使ってごみ箱を設置している。 <p>②事務室の整理整頓</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作業の効率化を図るために一目見て必要なものが分かるように、きれいに整理整頓している。 <p>③ 裏紙利用の禁止とシュレッダーごみのリサイクル</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報の漏えいを防ぐため、裏紙の利用を禁止している。廃棄する紙はすべてシュレッダーし、リサイクルしている。 <p>④落し物コーナーの整理整頓</p> <ul style="list-style-type: none"> ・落し物の数が多いため、すぐ見つかるようにきちんと整理整頓している。 <p>⑤フレッシュタイム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・週2回、夕会後に職員で簡単な掃除を行う時間（フレッシュタイム）を設けた。 <p>⑥ペーパーレスの取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員会議資料などは、パソコン上で閲覧できるようにし、紙をなるべく使わないようにしている。
記録		<ul style="list-style-type: none"> ・電気及び水道の使用量を毎月記録し、校内で一番目立つ場所に掲示した。 ・令和3年度の水道使用量を令和2年度と比較してみた。4月から1月までの10カ月中、8か月が前年度の同じ月を下回った。前年度比で約20パーセント使用量を減らすことができた。
見直し		<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ感染拡大防止のため、集会が行えず、学校全体に呼びかける機会がほとんどなかった。オンライン集会での呼びかけなど、全校に周知する方法を工夫する必要がある。 ・昨年度比で3パーセント減を掲げた。放送の機会を増やすなどして積極的に取り組んでいく必要がある。

2 成果と課題

成 果	課 題
<p>○ペットボトルキャップ回収については、昨年度からの累計個数を把握でき、ごみとして焼却した場合のCO₂発生量を知ることができた。さらに、来年度の意欲につなげたい。</p>  <p>○事務職員と連携しながら「電気代の見える化」を行い、エアコンの使用について全職員で共通理解を行った。最大需要電力を考慮し、全教室を3グループに分け稼働開始時刻をコントロールすることで経費削減につながった。</p> <p>○長期休業中（年度末にも行う予定）に unnecessary なものを処分し、みんなが使う場所の整理整頓に努めたことで、仕事の効率化につながった。特に、事務室や印刷室・更衣室などの整理整頓がよくできていた。</p> <p>○会議資料をペーパーレスにすることにより、紙の使用量が削減できた。今後も削減できるものを考え、ペーパーレスを推進していきたい。</p>	<p>▲全校集会が行えないという状況の中で、どのように環境ISOの取組を呼びかけていくかが課題である。</p> <p>▲依然として落し物や置き忘れの傘が多い。物を大切に作る心を育てるために、担任から日々呼び掛けてもらうことと委員会活動でも別の方向からの手立てを考えていきたい。</p> <p>▲児童だけでなく職員も含め学校全体で環境に対する関心を高められるような取組を継続できるように工夫する必要がある。</p>